

様式第4号(第5条関係)

政務活動費収支報告書

令和 4年 3月 23日

島田市議会議長 大石 節 雄 様

議員氏名 曾 根 達 裕

令和3年度の政務活動費について、次のとおり報告します。

収入の部

単位：円

項目	決算額	摘要
政務活動費交付金	183,326	
計	183,326	

支出の部

単位：円

項目	決算額	摘要
調査研究費		
研修費		
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費	5,500	書籍購入費
その他の経費		
計	5,500	

政務活動費残額 177,826 円

※ 調査研究その他の活動の概要及び領収書を添付してください。



政務活動費支出決算額明細書

項目	支出明細	領収書貼付 用紙の番号
資料購入費		5,500円
	書籍 地方議会運営辞典 5,500円	1
計		5,500円

領 収 書 等

項 目	資料購入費		
支出明細	書籍 地方議会運営辞典	領収書貼付 用紙の番号	1

Amazon.co.jp - 注文番号 250-6243873-3166218

1/1 ページ

amazon.co.jp

注文番号250-6243873-3166218の領収書

このページを印刷してご利用ください。

発行日: 2021年9月26日
 注文日: 2021年9月24日
 Amazon.co.jp 注文番号: 250-6243873-3166218
 ご請求額: ¥ 5,500

曾根達裕様

2021年9月25日に発送済み

注文商品

1点 地方議会運営事典 第2次改訂版, 地方議会運営研究会
 販売: アマゾンジャパン合同会社

価格

¥ 5,500

コンディション: 新品

お届け先住所:

曾根達裕
 427-0002
 静岡県 島田市大草
 622

配送方法:

通常配送

支払い情報

支払い方法:

Visa 下4桁 6006

商品の小計: ¥ 5,500

配送料・手数料: ¥ 410

請求先住所:

曾根達裕
 427-0002
 静岡県 島田市大草
 622

注文合計: ¥ 5,910

割引: -¥ 410

ご請求額: ¥ 5,500

クレジットカードへの請求

Visa(下4けたが6006): 2021年9月25日: ¥ 5,500

注文の状況を確認するには、注文内容をご覧ください。

調査研究報告書

令和4年3月28日

島田市議会議長 大石節雄 様

島田市議会議員 曾根達裕

令和3年度の調査研究テーマに基づく活動等について、次のとおり報告します

【調査研究テーマ】

1. 島田市の経済活性化について。
2. 防災・減災対策について。
3. 暮らしやすい町作りについて。
4. 地域医療体制づくりについて。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の対策のために、外部でのセミナー・研修会・講座に参加できなく、独自で調査研究を実施した。

1. 島田市の経済活性化について

今後、当市としてどのように地域経済を活性化させ、発展させていくのか、中小企業・商業・農業の各分野における状況と対策について調査した。

①中小企業においては、人材の確保について主に調査を行い、若い世代では、合同企業説明会やインターシップフェア、集団面接練習会を実施しており、現在働いている人には能力向上を目的に労働者キャリア教育支援事業を実施し、また、高齢者が経験と能力を活用できる就業の場である島田市シルバー人材センターへの支援が重要だと感じた。

②商業においては、中心市街地活性化基本計画に基づき中心市街地の賑わいづくりと既存店舗の利用価値について研究を行った。元気市やまつり、イベントやマルシェの開催で賑わいづくりを行う。まちなか商店リニューアル事業により、長年事業を営んできた店舗の内外装の老朽化等を改善し新規顧客を呼び込む。まず、中心市街地に住む方々にとって魅力的な生活場所にして、そこへ観光客・来訪者・市内周辺から人々を読み込み、賑わいづくりを進めていく。

③農業においては、「人・農地プラン」について主に調査を行った。このプランでは認定農業者が重要な位置づけとされ、推進するためには、認定農業者の主体

が求められている。認定農業者と将来の農業を託す若手農業者への支援について調査した。また、農作業の負担軽減や経営効率化につながる環境整備を後押しする、ICTを生かした「スマート農業」については今後も調査研究が必要である。

この、①②③については、令和4年2月島田市議会定例会で一般質問を行った。

2. 防災・減災対策について

巨大地震や台風・局地的豪雨による風水害・土砂災害など危機事態における避難所の運営について調査した。

それぞれの地域の実情に応じた「避難所マニュアル」を作成し対応していく。発災直後は役員等、被害の少ない皆様の力を借り開設と初期運営を行い、運営が軌道に乗ってきたら、業務を少しずつ避難者に担ってもらい、最終的には避難者だけによる自治組織により運営していく。

地域防災リーダーの養成、各地域のタイムロードマップの作成、防災計画と非難計画の策定が必要となる。

この避難所運営については、令和3年9月島田市議会定例会で一般質問を行った。

3. 暮らしやすい町作りについて

地域内の道路整備進捗状況と交差点での渋滞解消について調査を行う。

特に中河町野田線・中央中河線町と御仮屋旗指線の交差点の渋滞がひどく対策が必要である。

対応策として、中央中河町線と御仮屋旗指線の交差点に直進と右折矢印を記入し経過観察とする。

令和3年度6月島田市議会定例会で一般質問を行った。

4. 地域医療体制づくりについて

新型コロナウイルス感染症により直接地元である島田市立総合医療センターや開業医に出向き調査は難しかった。

その為、島田市地域医療を支援する会主催の医療学習会に出席し「医療センターの現状について」学習を行う。

※資料購入費(書籍・地方議会運営辞典)

議会運営のルールを十分に理解し、公平中立で効率的な議会運営を行うため書籍を購入した。